

児童の主體的な探求を深める生活科の構想
～「わたしの 町 はっけん」の学習を通して～

日立市立大久保小学校

1 はじめに

本校の生活科では、次のように地域と関わっている。1年生では、昔遊びを地域の方々に教えてもらう学習、2年生では、大久保学区へ探検に出かけ、町のいいところを見つける学習を行っている。学習指導要領解説生活編には、「地域の人々、社会及び自然を生かすとともに、それらを一体的に扱うよう学習活動を工夫すること」と書かれている。例えば、町を探検する活動で児童が地域に出かける。児童は、公園、商店、空き地、畑、駅、停留所、公民館などを見付け、それを利用したり、そこで働いたりしている人に気付く。児童は、関心をもったことについて、見る、聞く、触れる、探すなどして直接働きかけながら、それらと自分とのかかわりを深め、知的好奇心や探究心などをはぐくみ、豊かな感性を養い、自立への基礎となる様々な体験を総合的に積み重ねていけるよう、学習活動を展開したいと考えた。

2 指導案

(1) 単元名 わたしの 町 はっけん

(2) 目標

- 自分たちが住む町を探検し、様々な場所やもの、人に出会いながら、町への親しみと愛着をもち、ルールやマナーを守り、安全に気をつけて、見たり、調べたりしようとしている。
(生活への関心・意欲・態度)
- 自分の好きな場所や人、心に残った出来事などを表現し、友達や地域の人に知らせることができる。
(活動や体験についての思考・表現)
- 自分たちの生活は、地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわりをもっていることに気づくことができる。
(身近な環境や自分についての気づき)

(3) 単元設定にあたって

①指導にあたって

子どもたちの地域生活は、家庭と学校を核にして、放課後に利用する児童クラブや公園、さらに家族と共に行くお店や駅など、そこに働く人々などとかかわり、支えられて成り立っている。また、その過程で、地域で生活する人々ともかかわり、見守られて生活している。しかし、自分の生活が「地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所と関わっている」ことを意識して生活している子どもは少ない。本単元では、自分たちの地域の人々や場所のすばらしさに気付き、親しみや愛着を深めることをねらいとしている。生活科の教科書では、「わたしの町はっけん」と題されているが、より子どもたちに自分の住んでいる地域への愛着を深めるために「たんけん！はっけん！大きくぼの町」という題材名で学習を進めることにした。

実態調査（平成29年5月26日 32名）

① 生活科の勉強は好きですか。	はい・・・27名 ふつう・・・5名 いいえ・・・0名
② 自分の住んでいる地域にどんなお店や工場，施設があるのかを知っていますか。	よく知っている・・・11名 自分の家の近くなら知っている・・・5名 あまり良く知らない・・・16名
③ 地域にあるお店や工場，施設に行っているいろいろなことを知りたいと思えますか。	はい・・・30名 いいえ・・・2名

本学級は、生活科の学習が好きな児童が多く、意欲的に取り組む児童が多い。前単元では、1年生に校内を案内する「学校たんけん」や大久保小の春を見つける「大久保小の春の花マップ」「大久保小の虫マップ」作りなどを通して、簡単な地図を使った学習を進めてきた。そこでは、学校内にはいろいろな物や自然があることに気づいた。児童たちからは、学校外の施設や商店、自然などについても知りたいという意欲が出てきた。

そこで、本単元では、グループごとに地域へ出かけ、興味をもった施設や商店の様子を調べたり、インタビューしたりする学習を展開する。それらの活動を通して、自分たちの生活が多くの人とかかわりながら成り立っていることに気付かせたい。2学期には、グループごとに出かける前段階として町探検に行く。本時では、どのような施設や商店があるのかを見に行っただけのことを思い出して、どんな施設や商店があるのかを確かめ、そこで質問したいことを考えられるようにする。

②指導計画（25時間扱い）

次	時	主な学習活動・内容	評価規準
1	1～3	・町で大好きな人や場所とそのわけを紹介し合う。	・地域の様々な人々や場所に関心をもって紹介しようとしている。
2	4～14	・町探検に行く計画を立てる。 ・町探検に出発し、発見を広げる。	・自分が行ってみたい場所を決め、出かける計画を立てたり準備をしたりすることができる。 ・探検の仕方やマナーについて考え、実行している。
	15	・発見した「町のすてき」を紹介し合い、友達や保護者に発表する方法や内容を相談する。	・町の人々や場所の様子が相手に伝わるような表現方法を考えようとしている。
	16～20	・「町のすてき」の発表の準備をする。	・町の人々や場所の様子が友達に伝わるような表現方法を考えようとしている。
3	21～25	・「町のすてき」の発表をする。	・相手に伝わるように、内容や方法を工夫しながら発表しようとしている。

(4) 本時の展開

①目標

町探検をした場所の地図に付箋を貼る活動を通して、どこにどんな施設や商店があるのかを思い出すことができる。

②準備・資料

町探検のワークシート・地図のワークシート・付箋・写真

③展開

◎個に対する指導の手立て

学習内容	支援の手立てと評価
<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>町たんけんを思い出して、どんなしせつやおみせがあったのか話し合おう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の流れや施設やお店の写真を掲示し、町探検の様子が思い出せるようにする。
<p>2 全体で話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>ケーキやさんがありました。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>あんずの木がたくさん生えていました。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に大きな地図を貼り、その周りに児童から出た施設やお店の写真を貼っていく。 ・前時の町探検でメモをしたワークシートを配り、メモを見ながら思い出せるようにする。
<p>3 グループごとに話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地図に見つけたものを書いた付箋を貼りながら話し合う。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>歩道橋があったね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: 150px;"> <p>薬屋さんのとなりにお弁当屋さんがあったよ。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 150px;"> <p>この工場では何を作っているのかな。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎一緒にメモを見ながら付箋を書き、地図の場所を確認して貼れるようにする。 <p>(評) 町探検をした場所の地図に付箋を貼る活動を通して、どこにどんな施設や商店があるのかを思い出すことができる。</p>
<p>4 全体でグループごとに行ってみたい施設やお店を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時につながるよう、詳しく知りたい施設やお店について話す。
<p>5 本時の学習の振り返りと次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は、グループで行ってみたい施設やお店を話し合い、質問を考えることを伝える。

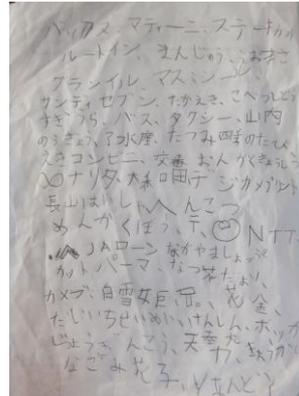
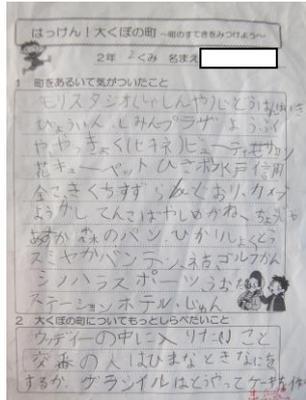
3 資料

- ① 町探検の様子 ②子どもたちの事前のメモ ③話し合いの様子

①



②



③



4 成果と課題

(1) 成果

- ・町探検の本番の前に出かけたことで、どこにどんな施設やお店があるのか地図に示すことができた。グループのみんなと話し合うことで、自分が気付かなかった場所に気づくことができ、2学期に行う、グループごとの町探検への意欲が高まった。
- ・2学期の町探検では、グループごとに探検したい場所へ行き、事前に考えた質問事項をもとに地域の方へ質問をしたり、メモをとったりしてることができた。
- ・まとめでは、町の人々や様子を友だちと伝え合う活動をしたことで、自分が探検に行かなかった場所へ興味をもち、大くぼの町への関心がさらに高まった。

(2) 課題

- ・町探検を通して、楽しただけで終わらせるのではなく、気付きの質を高められるような工夫が必要である。
- ・本単元は、保護者や地域の方の協力あつての活動である。毎年、快く受け入れてくれる施設や商店がたくさんあり、恵まれた環境の学区といえるが、保護者の生活スタイルや地域の変化に合わせて、計画を立てる必要がある。